

アマチュア無線局用レピータを利用した UHF 電波伝搬調査の可能性

十文字 正 憲*・川 又 憲**

A Proposal of Availability of Amateur Radio Repeaters as a Signal Source of UHF Frequency Propagation Research

Masanori JYUMONJI and Ken KAWAMATA

Abstract

In this paper, we propose the use of amateur radio UHF repeater, for the purpose of the research of UHF and quasi-microwave frequency propagation, and present the preliminary data of the propagation of these radio frequency.

1. はじめに

現在、準マイクロ波帯は移動無線用として注目を集めている。しかしながら、その伝搬特性は、これまであまり調べられていなかった。我々は、アマチュア無線用レピータを利用して、準マイクロ波帯の電波伝搬調査を行うことを提案する。

2. アマチュア用レピータの周波数の 割当について

JARL 制定 430MHz 帯、1200MHz 帯の使用区分を、それぞれ第 1 図、第 2 図に示す。

3. アマチュア用レピータの分布アップ

第 3 図は、北東北および北海道の 430MHz レピータ局をマップとして記したものである。ほぼくまなく設置されているのが判る。つぎに、

1200MHz の例を第 4 図に示す。さすがに局数が少なくなることもあって、430MHz よりアクセスできるレピータが減ってしまうが、まず十分な数といえる。

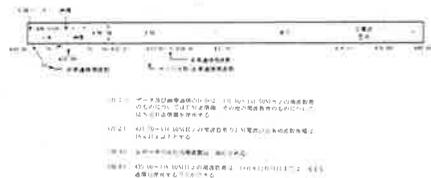


図 1 JARL 制定 430 MHz 帯使用区分



図 2 JARL 制定 1200 MHz 帯使用区分

平成 5 年 10 月 15 日受理

* 電気工学科 教授

** 電気工学科 助手